

ご一緒にしましょう コミュニティづくりを!

中野ふくし倶楽部通信

「中野ふくし倶楽部」は、主に中野区に暮らす人々の福祉の向上と子どもたちの豊かな育ちに貢献することを目的としています。

NPO 法人 中野ふくし倶楽部
 発行責任者 田中芳樹
 中野区中央 4-53-7 YHNビル 101
 TEL 03-3384-5616
<http://www.nfcaozora.org/>

映画「毎日がアルツハイマー」見た、感じた、考えた! 認知症でも自分らしく生きていたい!

あおぞら
 スキルアップ研修

認知症の母親の日常を撮影した関口祐加監督の作品「毎日がアルツハイマー」、その第一作は 2012 年から各地で上映されました。続編「毎日がアルツハイマー 2」は今年 7 月から東中野のポレポレなどで上映が始まっています。

ふくし倶楽部では 9 月に「毎日がアルツハイマー 1」をあおぞら事業所のスキルアップ研修の一環として鑑賞しました。ヘルパーさんたちから寄せられた感想をご紹介します。

今日の映画は、認知症(アルツハイマー)の方の日常生活が映し出されていて、とても興味深く食入るように観ていました。死に対する思いも、娘さんとの会話で「気が付いたら死んでいたというようになりたい。」とおっしゃっておられました。自分らしく生きていたいということが、映画の中ににじみ出ていました。アルツハイマーであっても……

アルツハイマーの人を主役にすることで、医師は医師らしく、学者は学者らしく、孫は孫らしく振舞うようになる。アルツハイマーの人を通して人々の与えられた役割がみえてきた。その役割が、突き放した物言いや愛情を持った言葉としてあらわれる。それぞれに与えられた役割があることを意識したい。

アルツハイマーでも瞬間瞬間が正常という、専門家の先生の話が印象的でした。

今までの経験、体験を振り返って新しい視野から始めてみたいと思います。それぞれ違う、認知症の方の日常生活、行動や考え、闘いながら苦しみの中で生活を送っていることが、見えてきました。本人にとっての「幸せ」とは何か? 考えさせられました。



↑ 毎日がアルツハイマー-2ホームページから

ご本人や家族が明るさを失わずに生活されていることが素晴らしいと感じた。

映画を観て、ユーモアと笑顔と愛で接していけたらと思いました。外の人たちとの関わりもとても大切だと思った。

認知症が「多幸症」という自己防衛の側面もあるということ、そのことが人間の社会生活の中で葛藤や苦しみ、死の恐怖から解き放されるということを学んだ。今後、興味・関心に働きかけながら情緒的な関係が築けるよう実践していきたいと思った。

よく話を聞くこと、笑顔でポジティブに！一瞬ドキッとするぐらい、明日は我が身かと実感しました。アルツハイマーはずっとではないということがわかりました。会話のむずかしさもありますが、その方の尊厳を保つように接することだと思いました。



あおぞら とうもろこし狩り 楽しみました



9月21日、利用者さん、ご家族、ヘルパーさん、職員、理事さん、お友達など総勢25人で、河口湖周辺鳴沢のとうもろこし狩りを楽しみました。快晴に恵まれ、とうもろこし狩りの後、「河口湖畔での昼食」、「忍野八海の見学・散策」と存分に楽しむことができました。ヘルパーさんたち大人は、小さな子どもたちといっしょに過ごすことができ良かったようです。支援学校3年のI君は「来年も来たいです」。初めて参加したK君兄弟はマイクを持って、「楽しかった！ありがとう」と感想を語ってくれました。さて、来年は何狩りの企画になるでしょうか……？

中野ふくし倶楽部 講演会 2015年2月に予定

講師：「認知症の人と家族の会」代表理事
高見国生さん
演題：調整中

今年も **ジャズ&ディナー**

中野の未来を語りあいながら
年の瀬は最高のジャズ&ディナーで
12月19日(金) 18:30 開会
中野サンプラザにて
お一人様 10,000円
先着 100名様
どなたでもお申し込みいただけます

お問い合わせ・ご予約
電話：03-3384-5616
ファクス：03-3384-5617
メール：nfcaozora@nifty.com

中野ふくし倶楽部日誌

- 7月24日 第2回理事会
- 9月19日 スキルアップ研修
「毎日がアルツハイマー」鑑賞
- 9月21日 河口湖とうもろこし狩り 25人参加
- 9月24日 第3回理事会

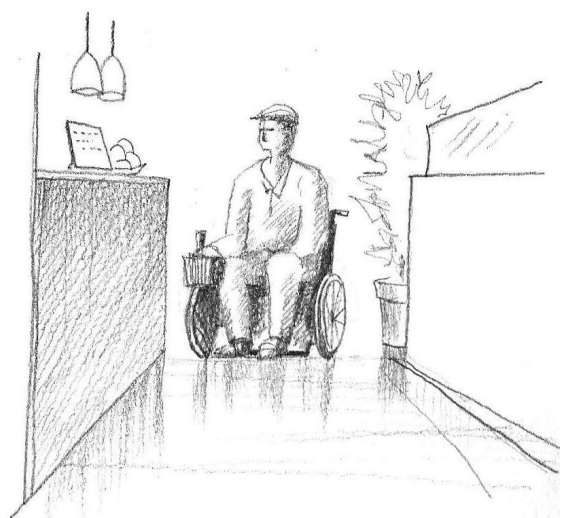
お元気ですか？

理事長 大畑 きぬ代

民謡では一番好きな「御嶽山」。その山が突然噴火し、登山中の多くの方が犠牲になりました。ご冥福をお祈りします。合掌。

その日認知症グループホーム大会が終わり、阿蘇山に行く途中「小さな噴火が続いているため、今日はロープウェイは動いていない」と言われた時間でした。自然が人間の傲慢さに怒っているのでしょうか。いくつもの火山に近い川内原発の再稼働は、何としても世論で食い止めなければ、と決意しました。

グループホーム大会は、「認知症になっても安心・安全に暮らせるまちづくり推進宣言」を採択しました。認知症 800 万人時代の日本での「個の尊厳を保持する」ケアを参考に、人口 2300 万人、高齢化率 10%の台湾でグループホームが開設されたという報告。しかし月 18 万円程かかるグループホームに入居できる人は限られる。中程度の認知症であれば住み慣れた地域で暮らせる、そんな地域づくりこそ求められていると実感。明日は我が身、まずは認知症のサポーターを増やして「安心」をつくりたいものです。



まちかどスケッチ 田中芳樹

喫茶店に、音もなくスッと入ってきたのは電動車イスの男性。「ブレンド持ち帰り」と注文して代金を払い、品物を受け取る。その間約1分。見事な行動力でした。